

1泊2日コース 串本町〜太地町〜那智勝浦町〜新宮市

海の日本遺産と山の世界遺産をめぐる熊野満喫プラン



左が九龍島、右が鯛島。鯛島には目のような空洞も

九龍島
●くろしま
●たいじま
東牟婁郡串本町西向
JR古座駅から徒歩約10分の国道42号から見学
[MAP] P22B3

橋杭岩
●はしくいいわ
東牟婁郡串本町くじの川
バス停橋杭岩からすぐ [MAP] P22A3

陽光きらめく串本の海岸線をドライブ



巨岩・奇岩の列が約850mにもわたって海上に続いている

日本ジオパークのひとつ。ジオパークとは「大地の公園」を意味し、貴重な地形や地質などが残る地域を、日本ジオパーク委員会が認定する。和歌山県南部の9市町村（新宮市、白浜町・上富田町・すさみ町・那智勝浦町・太地町・古座川町・串本町、北山村）などを範囲とする南紀熊野ジオパークでは、3つの異なる地質体が見られ、橋杭岩をはじめとする107カ所がジオサイト（みどころ）に選定されている。

復元された燈明台が立つ岬の先端から熊野灘を一望できる



燈明崎 ●とうみょうざき
燈明台跡・山見台跡
古式捕鯨支度部屋跡・狼煙場跡
東牟婁郡太地町太地
バス停平見公園から
徒歩約15分 [MAP] P22C4

くじらの町・太地を訪ねる



太地町立くじらの博物館
→P8



鯨の町のおみやげにぴったりのくじらの民芸品（民芸工房 抱重庵→P22）

太地で鯨料理を食べるなら
いさなの宿 白鯨
●いさなのやど はくげい
太地湾に面した温泉宿。ランチ利用できるレストランでは、太地ならではの鯨料理のメニューが充実。鯨スタミナ丼1400円から鯨フルコース8000円まで、予算に応じてさまざまに楽しめる。
☎0735-59-2323 東牟婁郡太地町太地2973-4 ⑤バス停白鯨前からすぐ ⑥11時~14時(13時30分LO) ⑦不定休 [MAP] P22C4



竜田揚げ、刺身、ハリハリ鍋などを味わえる鯨御膳2500円

- 1日目
- JR串本駅
 - 車で約5分
 - 橋杭岩
 - 車で約5分
 - 九龍島・鯛島
 - 車で約30分
 - いさなの宿 白鯨
 - 車で約1分
 - 太地町立くじらの博物館
 - 車で約8分
 - 燈明崎
 - 車で約20分
 - 南紀勝浦温泉 泊

- 2日目
- 南紀勝浦温泉
 - 車で約15分の大門坂駐車場に駐車し、大門坂入口まで徒歩で約3分
 - 熊野古道 大門坂
 - 徒歩で約30分
 - 熊野那智大社
 - 徒歩すぐ
 - 那智山青岸渡寺
 - 徒歩すぐ
 - 魚霊供養碑
 - 徒歩で約15分
 - 那智の滝
 - 那智の滝前バス停から熊野御坊南海バスで約5分の大門坂駐車場前で下車、車で約15分
 - bodai
 - 車で約30分
 - 熊野速玉大社
 - 車で約7分
 - 神倉神社
 - 車で約5分
 - JR新宮駅

宿泊は南紀勝浦温泉へ→P20

巨大な洞窟内で温泉を楽しむホテル浦島の忘帰洞

現在、燈明崎には昔の灯台である燈明台が復元されており、燈明崎「燈明台跡」「山見台跡」、古式捕鯨「支度部屋跡」「狼煙場跡」が日本遺産の構成文化財となっている。絶景の岬で古式捕鯨を偲んだ後は、南紀勝浦温泉へ。名湯で1日の疲れを癒そう。

古式捕鯨の史跡が残る熊野灘一望の岬へ

九龍島・鯛島を後に、太地町へ。古式捕鯨の発祥地とされ、現在も沿岸で小型鯨類の捕鯨が行われている町だ。町内には、熊野ひいては日本の食文化として受け継がれてきた鯨料理を出す店も多く、まずは「いさなの宿 白鯨」でランチしよう。

さらに、太地町立くじらの博物館（→P8）を見学し、古式捕鯨の指令所「山見台」であった燈明崎を指す。熊野灘を一望できる断崖上のこの地で、昔の人は鯨を見張り、発見すると狼煙を上げるなどして、沖の船団に合図を送った。捕鯨の最重要施設であり、総指揮者は捕鯨に関わる族のうち、最も権威のある家筋の者しか就けなかったという。

和歌山県南部随一の景勝地と熊野水軍ゆかりの島

1日目は本州最南端の町・串本から、熊野灘に沿って北上。「鯨の町」として知られる太地を巡り、南紀勝浦温泉で宿泊する。

最初に訪ねる橋杭岩は、和歌山県を代表する景勝地。青い海に大小40余の岩柱が並び立ち、潮の満ち引きや太陽の位置によって、1日のうちでもさまざまな美しさを見せる。橋の杭のような姿は、波の浸食によって岩の硬い部分だけが残ったもの。国の名勝天然記念物であるとともに、南紀熊野ジオパークのジオサイトにも選定されている。

橋杭岩から国道42号を新宮方面に進んで行くと、右手の熊野灘に九龍島・鯛島が見えてくる。古座川河口の沖、約1kmに浮かぶ無人島で、かつては熊野水軍の拠点だったと伝わっている。また、大きい方の九龍島は、熊野灘の捕鯨文化のひとつ「河内祭の御舟行事」（→P6）

数多の巡礼者がこの道をたどった。世界的にも珍しい「信仰の道」の世界遺産



世界遺産 ジオパーク
熊野古道 大門坂
 ●くまのこどう だいもんざか
 ④東牟婁郡那智勝浦町那智山
 ⑤バス停大門坂から入口まですぐ
 【MAP】P22A1



世界遺産
熊野那智大社
 ●くまのなちたいしや
 ④0735-55-0321 ⑤東牟婁郡那智勝浦町那智山1
 ⑥バス停那智山から徒歩約10分 ⑦7時30分～16時30分 ⑧境内自由 【MAP】P22A1



日本遺産
青岸渡寺の魚霊供養碑
 ●せいがんとしのぎょらいくようひ
 ④那智山青岸渡寺の境内
 【MAP】P22A1

古色を帯びた本堂。室内の奥に本尊の如意輪観音が祀られている



世界遺産
那智山 青岸渡寺
 ●なちさんせいがんとし
 ④0735-55-0001 ⑤東牟婁郡那智勝浦町那智山8
 ⑥バス停那智山から徒歩約10分 ⑦7時～16時30分 ⑧境内自由
 【MAP】P22A1

石畳の古道を歩き、聖地・那智山へ



世界遺産 ジオパーク
那智の滝
 ●なちのたき
 原生林に包まれた、高さ133mの大断崖を豪快に流れ落ちる
 ④0735-55-0321(熊野那智大社) ⑤東牟婁郡那智勝浦町那智山 ⑥バス停那智の滝前から徒歩約3分 ⑦境内自由(御滝拝所は7時～16時30分) ⑧御滝拝所舞台参入 大人300円、小・中学生200円【MAP】P22A1

和歌山県・奈良県・三重県にまたがる3つの霊場(吉野・大峰、熊野三山、高野山)と参詣道(熊野参詣道、大峯奥駈道、高野参詣道)が世界遺産として2004年に登録されており、熊野灘沿岸地域では熊野三山やそれらを結ぶ参詣道である「熊野古道」の一部などが世界遺産として登録されている。

熊野川河口の世界遺産の町・新宮へ



世界遺産
熊野速玉大社
 ●くまのはやたまたいしや
 ④0735-22-2533 ⑤新宮市新宮1
 ⑥JR新宮駅から徒歩約20分 ⑦5時～17時(季節により変動) ⑧境内自由
 【MAP】P22B1



世界遺産 ジオパーク
神倉神社
 ●かみくらじんじや
 ④0735-22-2533(熊野速玉大社)
 ⑤新宮市神倉1-13-8
 ⑥JR新宮駅から参道入口まで徒歩約20分 ⑦境内自由
 【MAP】P22B1

山麓から538段の急峻な石段を上ったところにあるゴトビキ岩

町なかの名所・名物をたずねる

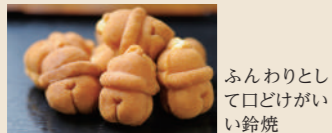
新宮は熊野速玉大社の門前町、新宮城の城下町として栄えてきた。市内には新宮城跡などの史跡が残り、徐福伝説を伝える徐福公園もある。徐福は約2200年前の中国の仙術者。不老不死の霊薬を探して熊野に渡来し、捕鯨の技術なども伝えたという。新宮は佐藤春夫や中上健次ら多数の文化人の故郷としても知られている。



極彩色の中国風楼門が立つ徐福公園
 【MAP】P22C1

老舗の銘菓をおみやげに 香梅堂

●こうばいどう
 明治元年(1868年)創業の和菓子店。看板商品の鈴焼1袋20個入り400円～は、ひと口サイズのかわいいカステラ菓子。和三盆糖の上品な甘さで世を問わず人気を集める。
 ④0735-22-3132 ⑤新宮市大橋通3-3-4 ⑥JR新宮駅から徒歩約10分 ⑦9時～21時(日曜は9時～17時30分) ⑧火曜日+不定休 【MAP】P22C1



ふんわりとして口どけがいい鈴焼

サンマ寿司を食べるなら 徐福寿司 駅前店

●じよふくずし えきまえてん
 熊野の郷土料理、サンマ寿司の名店。こちらでは、腹のうま味を損なわないよう手間のかかる背開きにこだわり、尻尾付きの「さんま姿寿司」として提供。ひと口食べるとユズ酢が爽やかに香る。

④0735-23-1313 ⑤新宮市徐福2-1-9
 ⑥JR新宮駅からすぐ ⑦10時～17時 ⑧木曜 【MAP】P22C1



さんま姿寿司1050円。持ち帰り可

那智の滝が現れる。那智山の信仰は、この大滝を神と崇める自然崇拜に始まったといわれる。滝の前には熊野那智大社の別宮・飛瀧神社があり、御滝拝所からは、水しぶきがかかるほど間近で聖なる大滝を仰げる。

那智の滝前バス停から路線バス(便数が少ないので事前に時間確認を)で大門坂駐車場へ戻り、車で勝浦の「boda i」へ。昼食に生まぐろの料理を味わおう。

山上の巨岩は 神々が降臨した聖地

午後は新宮市へ向かい、熊野三山のひとつ熊野速玉大社を参拝する。境内には、緑の木々を背に鮮やかな朱塗りの社殿が立ち並んでいる。さらに大社の元宮である神倉神社へもお参りを。大社の南、神倉山中腹にある巨岩「ゴトビキ岩」をご神体とする古社だ。

熊野の神々ははじめこの岩に降臨し、景行天皇の時代に新しい宮(熊野速玉大社)を建て、神々をお迎えしたという。そのため、神倉神社を元宮、熊野速玉大社を新宮とよぶようになり、「新宮」は地名ともなった。

参拝後は、新宮の町なかを散策。あるいは、那智・新宮と並ぶ熊野三山のひとつ、熊野本宮大社(田辺市本宮町)へ足を延ばすのもいい。新宮から車で1時間ほどだ。

勝浦で生まぐろを食べるなら boda i

●ぼだい
 生まぐろをはじめ新鮮魚介が人気の創作料理店。名物の「鮨中とろカツ」は勝浦産の生まぐろを高温で一気に揚げており、外はサクッと、中はとろとろのレア。これを丼にした鮨中とろカツ丼は1800円。
 ④0735-52-0039 ⑤東牟婁郡那智勝浦町築地5-1-3 ⑥JR紀伊勝浦駅からすぐ ⑦11時～14時、17時30分～21時30分 ⑧火曜 【MAP】P22C3



鮨中とろカツ丼。酸味のあるタレでさっぱりと味わえる

かつての熊野詣を追体験し、世界遺産の社寺を巡る

2日目は、世界遺産に登録されている熊野信仰の聖地・熊野三山と熊野古道の旅を楽しもう。

午前中は那智山へ。勝浦から車やバスで直行できるが、山麓の大門坂駐車場に車を止め、熊野古道の大門坂から歩いて巡るのがおすすめ。熊野古道は昔の人々が三山を巡礼するのにとどった道で、大門坂は当時の面影を美しく残しており、杉の巨木が林立する山中に苔むした石段が600mほど続いている。

坂を登り詰め、さらに山口・光峯堂(↓P22)などのみやげ店が並ぶ参道の石段を上ると、熊野那智大社に着く。すぐ隣には、那智山青岸渡寺。熊野三山のひとつとして、両者は一体的に発展してきたもので、どちらも世界遺産に登録されている。

まず熊野那智大社にお参り。標高約400m、那智湾を望む清々しい境内に、壮麗な社殿が立ち並ぶ。6棟からなる本殿は国重要文化財。那智山青岸渡寺は、西国三十三所観音霊場の第一番札所として知られる。豪壮な本堂は、豊臣秀吉が再建したものと伝わり、こちらも国重要文化財。本堂に向かって左には、日本遺産の魚霊供養碑が立つ。続いて、急な石段を下って行けば、